



グリーンファイナンス市場の動向について

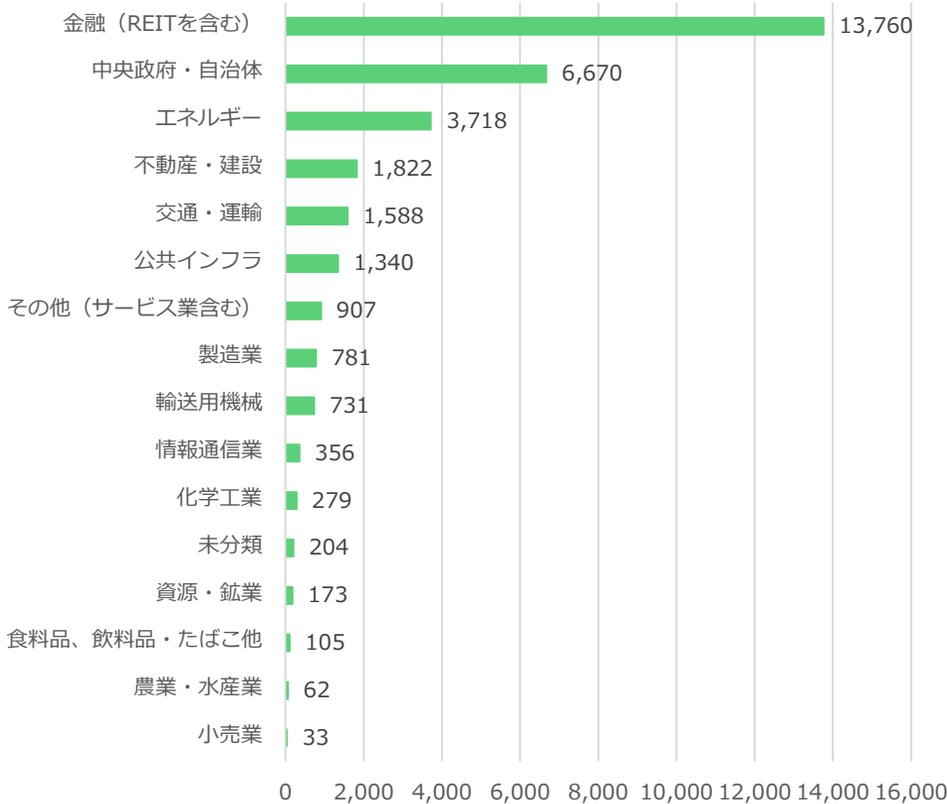
2024年9月10日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

世界のグリーンボンド発行動向

- 2023年（1～12月）は、発行額が前年比107%と微増、発行件数は前年比88%と減少した。累積発行額の42%が金融セクター（REITを含む）による発行。
- 資金用途は、再エネ、省エネ、グリーンビル、クリーンな運輸が多いが、その他セクターへも定着してきている。

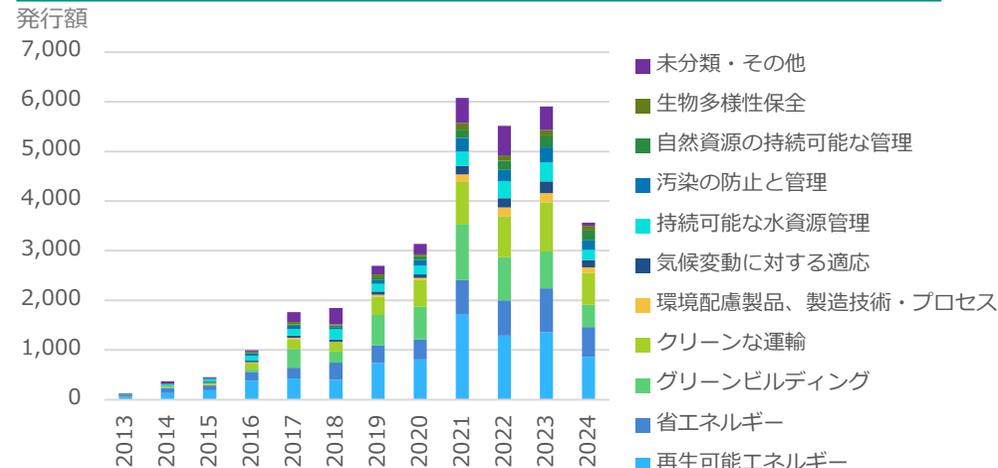
発行体業種別累積発行額（億米ドル）



発行額推移（億米ドル）



資金用途別推移（億米ドル）



*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

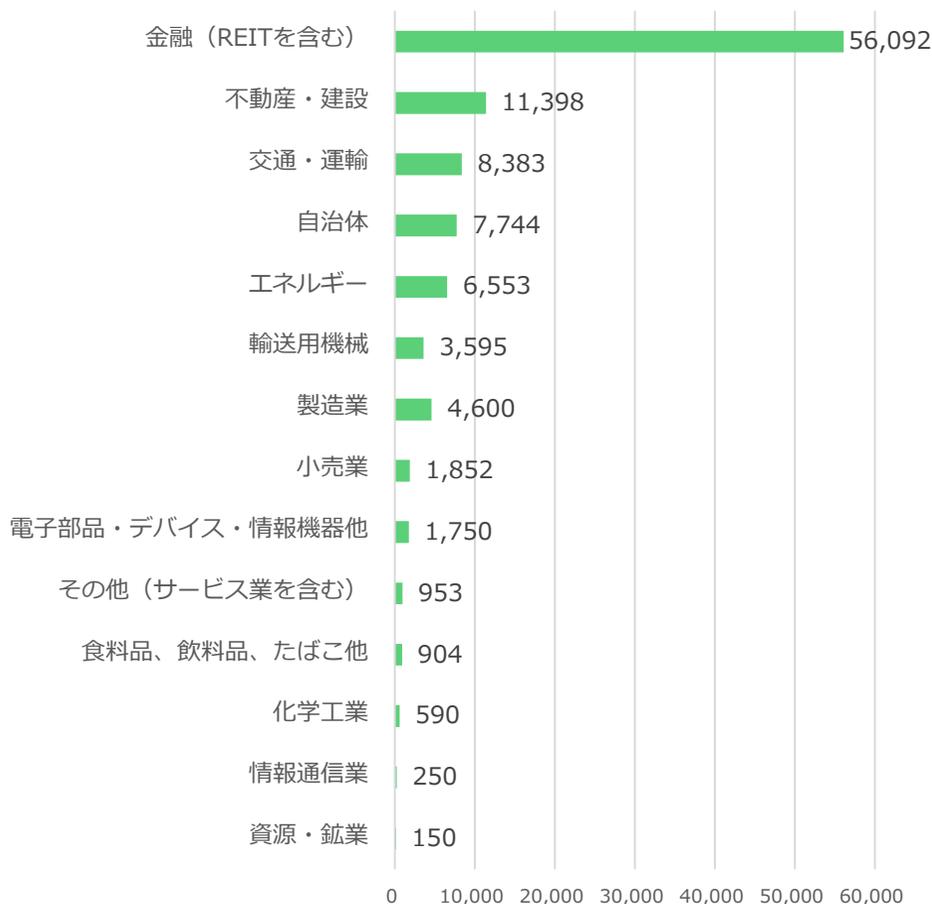
出所 Environmental Finance (2024) Environmental Finance Data
(アクセス日：2024年8月20日)、2024年7月末までのデータに基づく。

*複数資金用途があるものについては、調達資金総額をセクター数で按分。また、『未分類』はuse of proceeds が空欄となっているもの、『その他』は通常グリーンプロジェクトとは捉えられない資金用途であるものである。

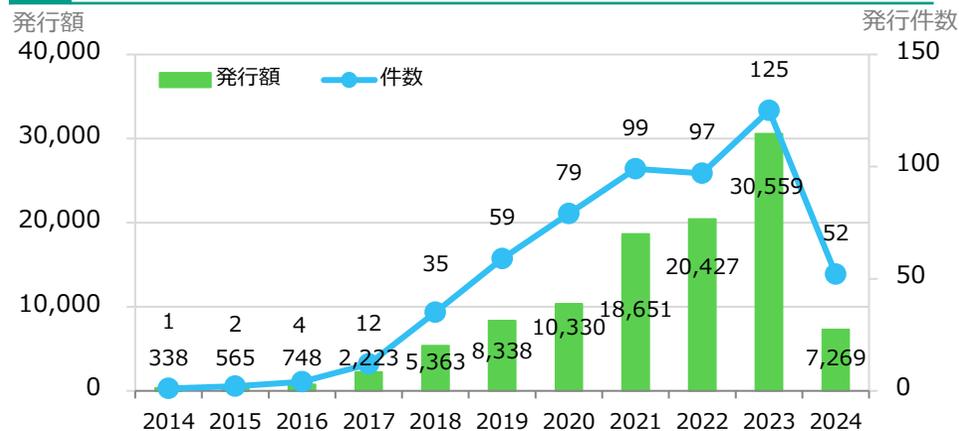
国内のグリーンボンド発行動向

- 2023年（1～12月）の発行額が前年比150%、発行件数は前年比129%と増加傾向にある。
- 資金使途では海外同様に再エネ関連が最も多いが、世界と比較し、グリーンビルディングが多いという特徴がある。

発行体業種別累積発行額（億円）

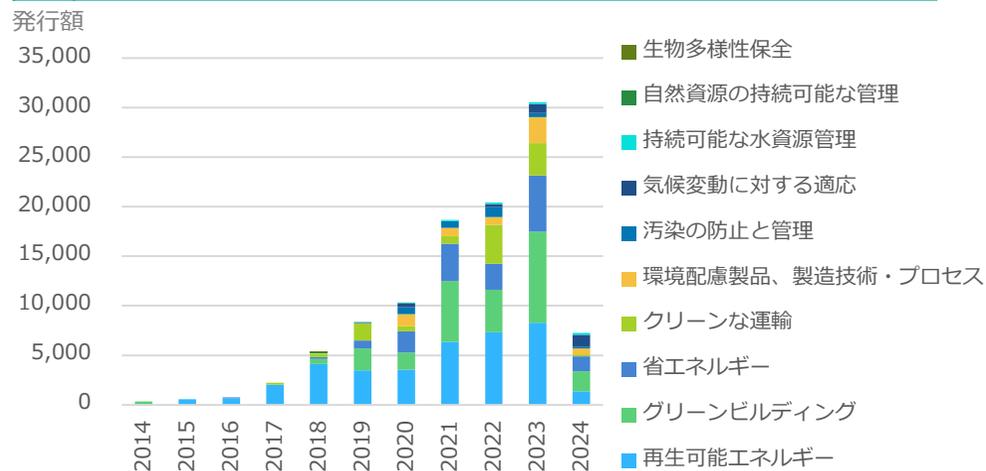


発行額推移（億円）



資金使途別推移（億円）

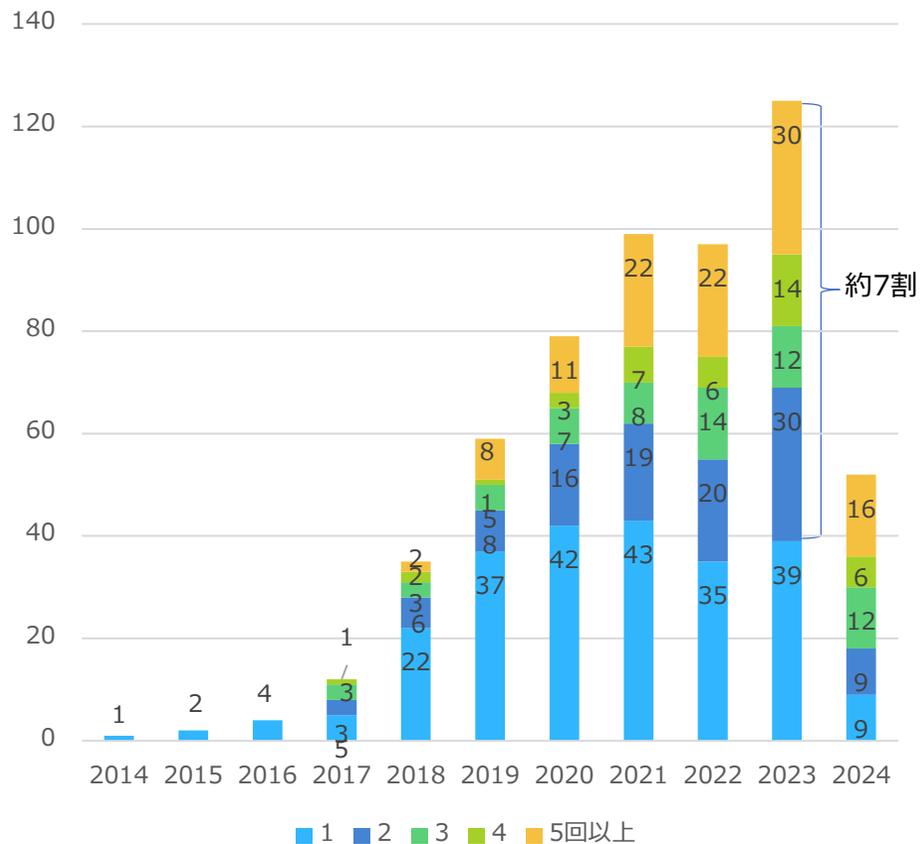
※複数資金使途があるものについては、主要な用途と思われるものに分類



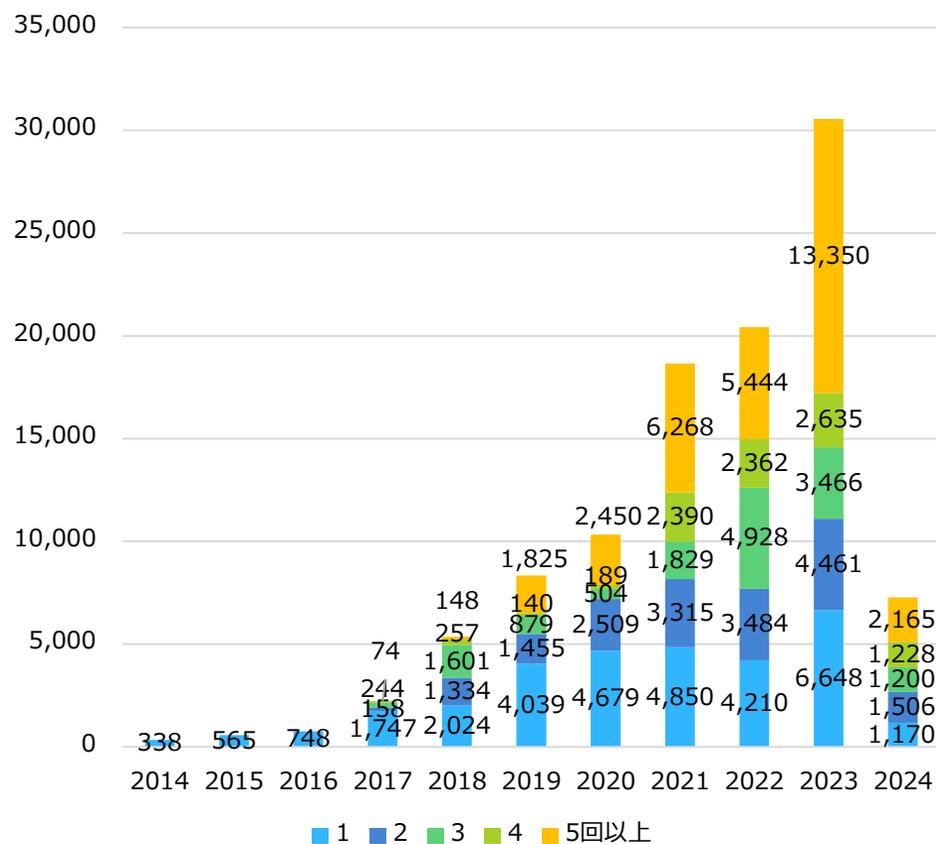
国内のグリーンボンド発行状況分析（発行回数別推移）

- 発行経験がある主体によるグリーンボンド発行は近年件数・金額ともに増加しており、全体の7割程度を占める。
- 2023年の新規発行体のグリーンボンド発行件数は前年比111%と微増であるのに対し、発行金額は前年比158%と増加している。

発行回数別発行件数推移（件）



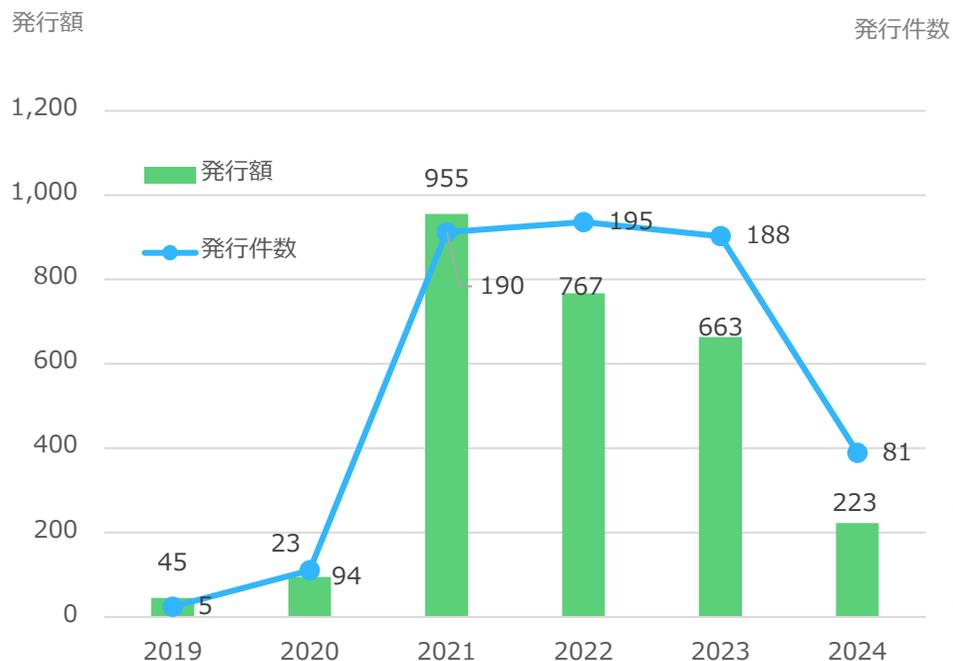
発行回数別発行金額推移（億円）



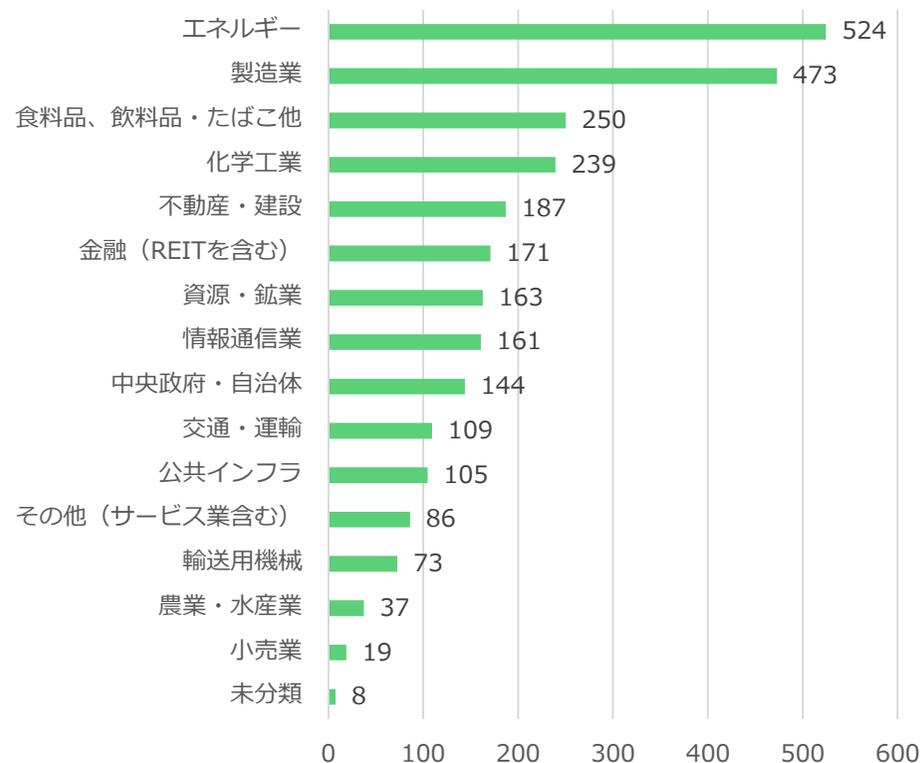
世界のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 2023年の発行額は前年比86%となっており、2021年をピークに減少傾向である。ただし、発行件数は、2021年～2023年は横ばいである。
- 業種別では、エネルギー、製造業、食料品、飲料品・タバコ他、化学工業の発行額が多い。

発行額推移（億米ドル）



発行体業種別累積発行額（億米ドル）

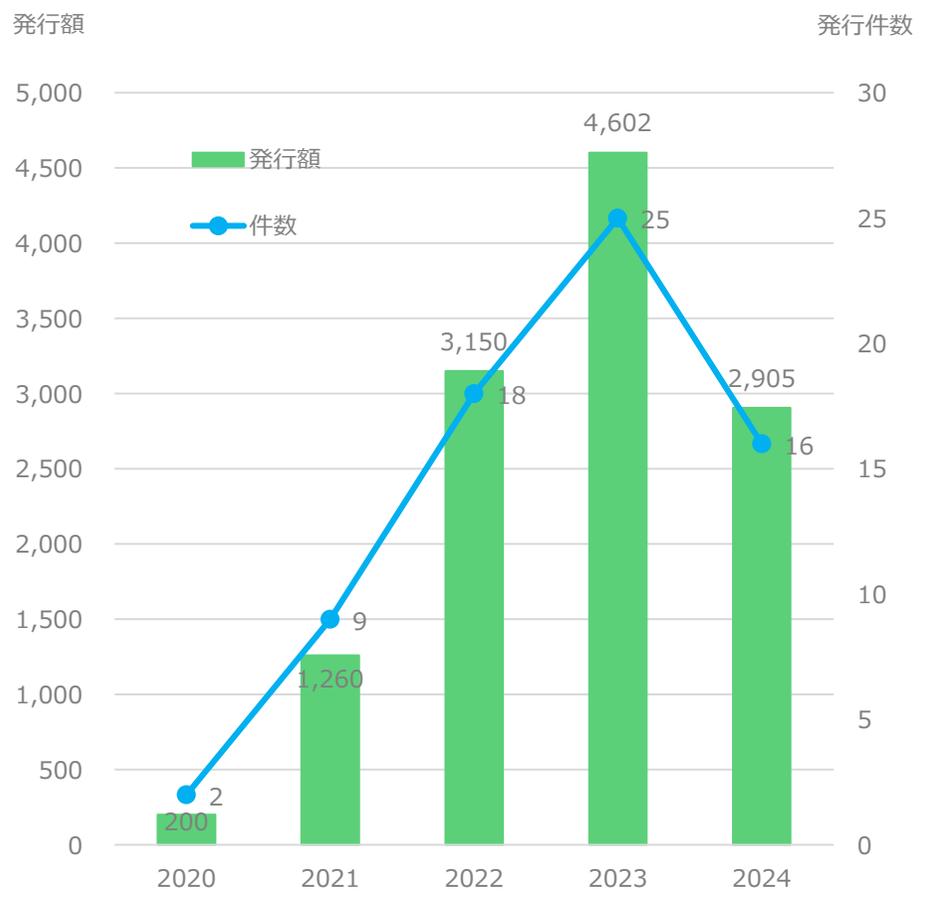


*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

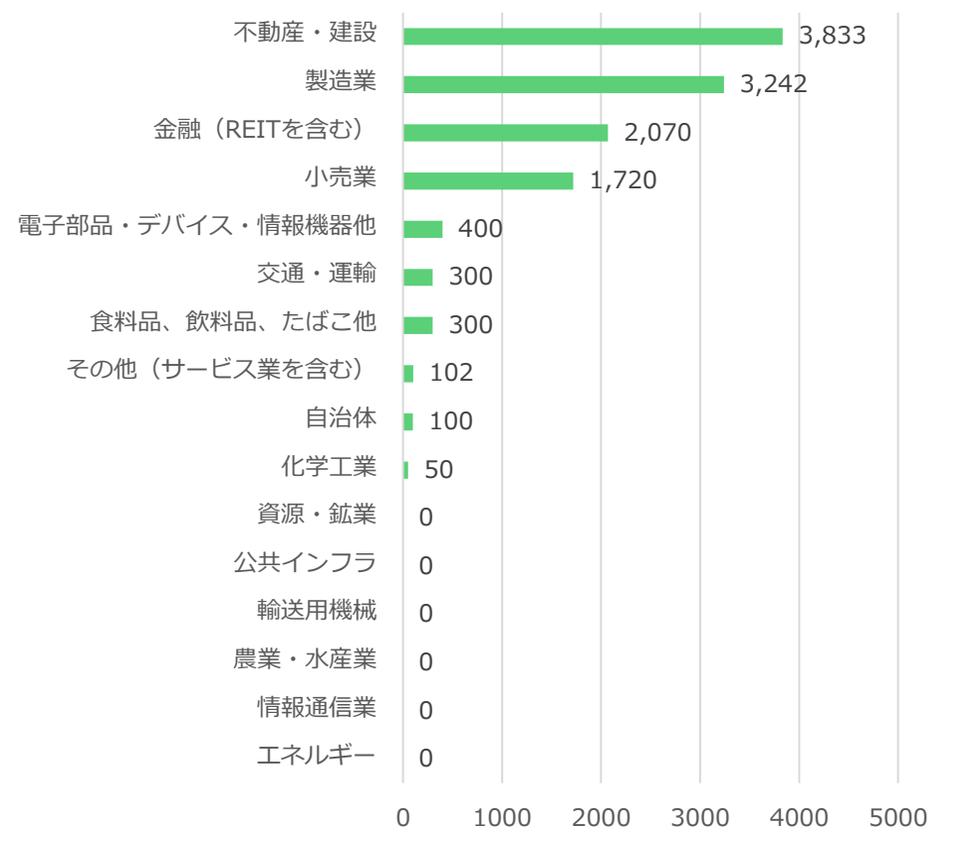
国内のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 2023年の国内発行金額は前年比146%となっており、2020年から続き増加傾向である。
- 業種別では、世界と異なり不動産・建設、小売業での発行額が多く、エネルギー・化学工業の発行額が小さい。

発行額・件数推移（億円）



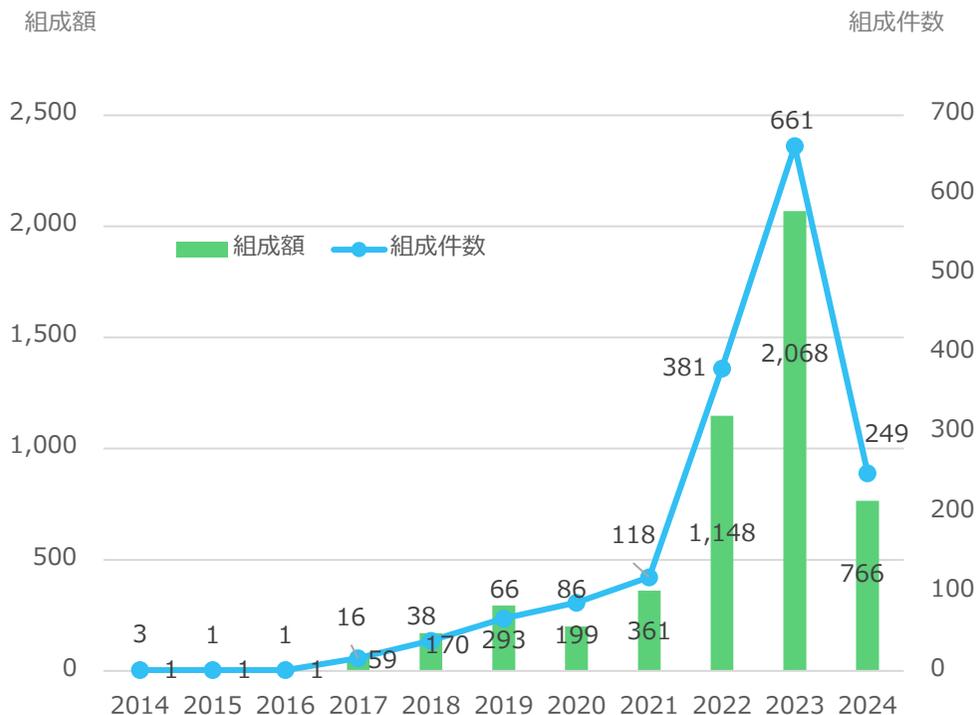
発行体業種別累積発行額（億円）



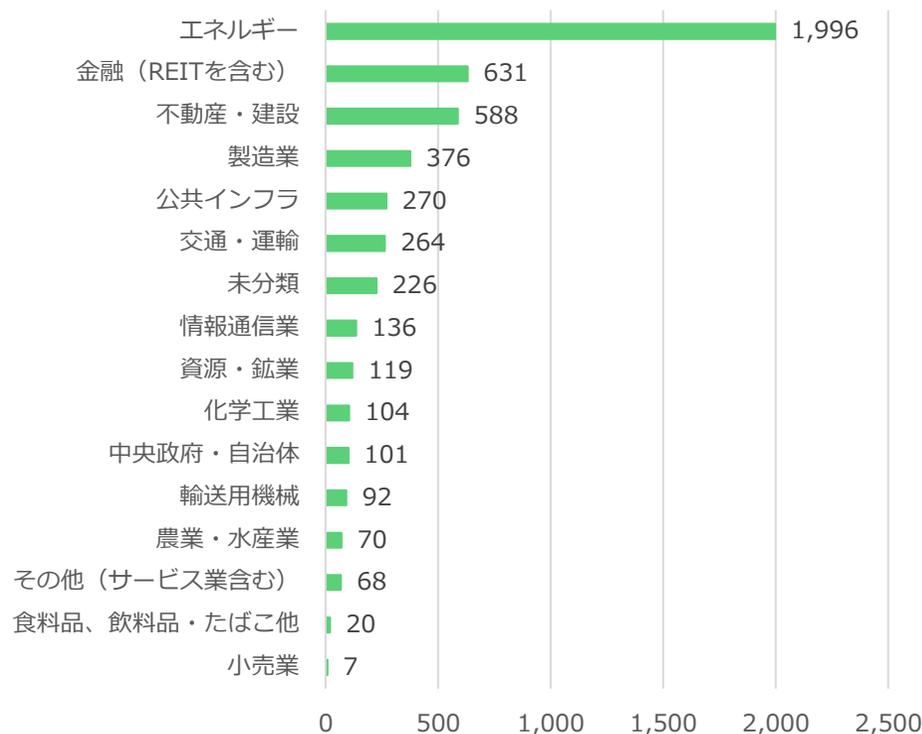
世界のグリーンローン組成動向

- 2022年以降、組成額・件数は共に急激に増加傾向にある。2023年の組成金額は前年比180%、発行件数は前年比173%となっている。
- 累積組成額で見ると、借り手業種別には、エネルギー、金融（REITを含む）、不動産・建設、製造業の順に組成額が多い。

組成額推移（億米ドル）



借り手業種別累積組成額（億米ドル）

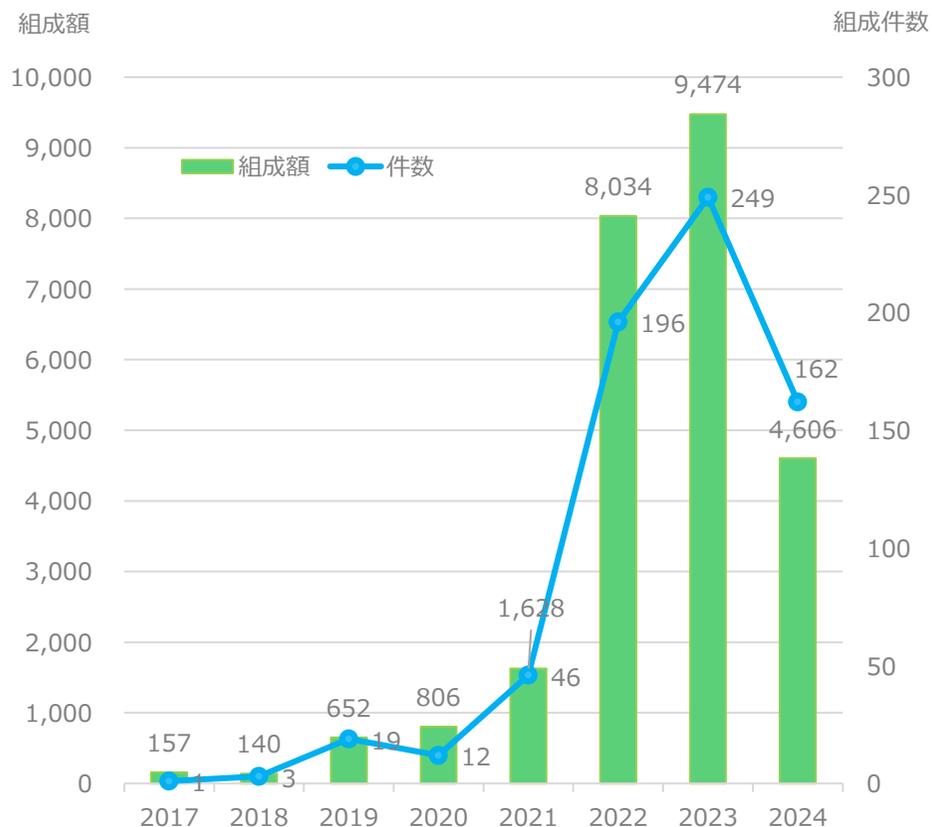


*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

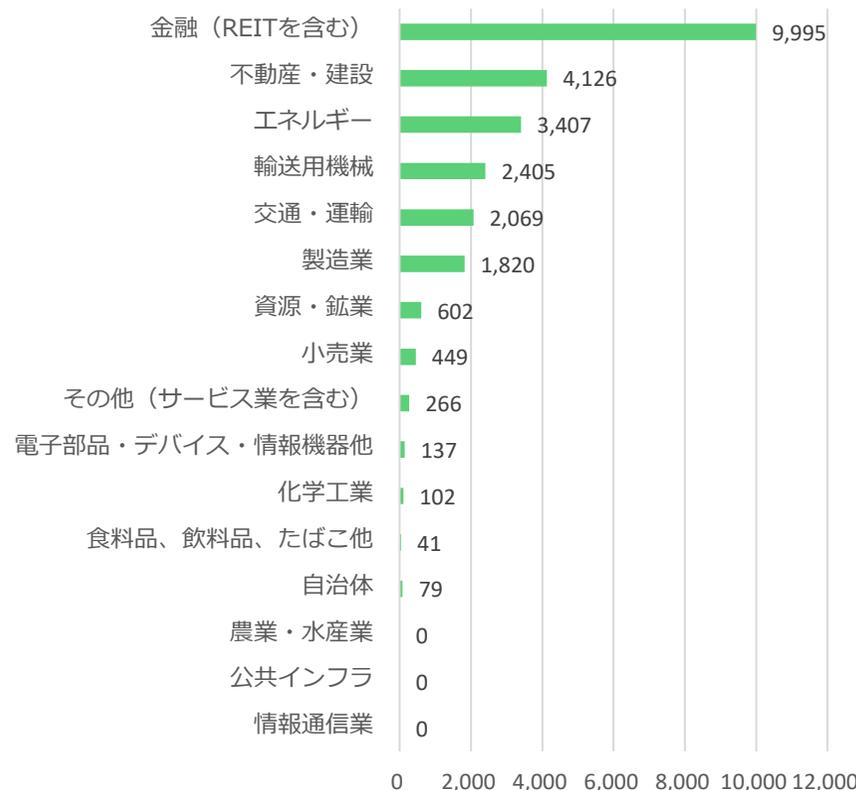
国内のグリーンローン組成動向

- 2023年の組成金額は前年比118%、発行件数は127%と増加傾向にあるが、2022年と比較して増加傾向は鈍化している。
- 業種別では、海外での発行状況と異なり金融（REIT含む）、不動産・建設、エネルギーの発行額が多く、公共インフラ、農業・水産業の発行額が小さい。

組成額推移（億円）



借り手業種別累積組成額（億円）



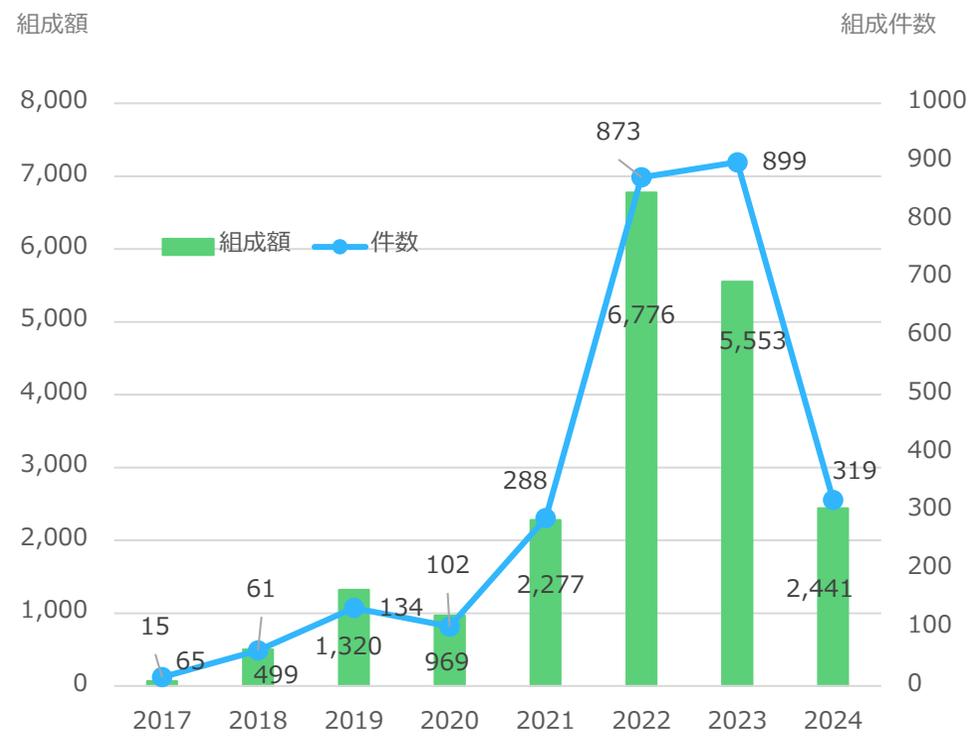
*金額情報が非開示案件は件数のみカウント

出所 環境省，グリーンファイナンスポータル（2024年7月31日時点）

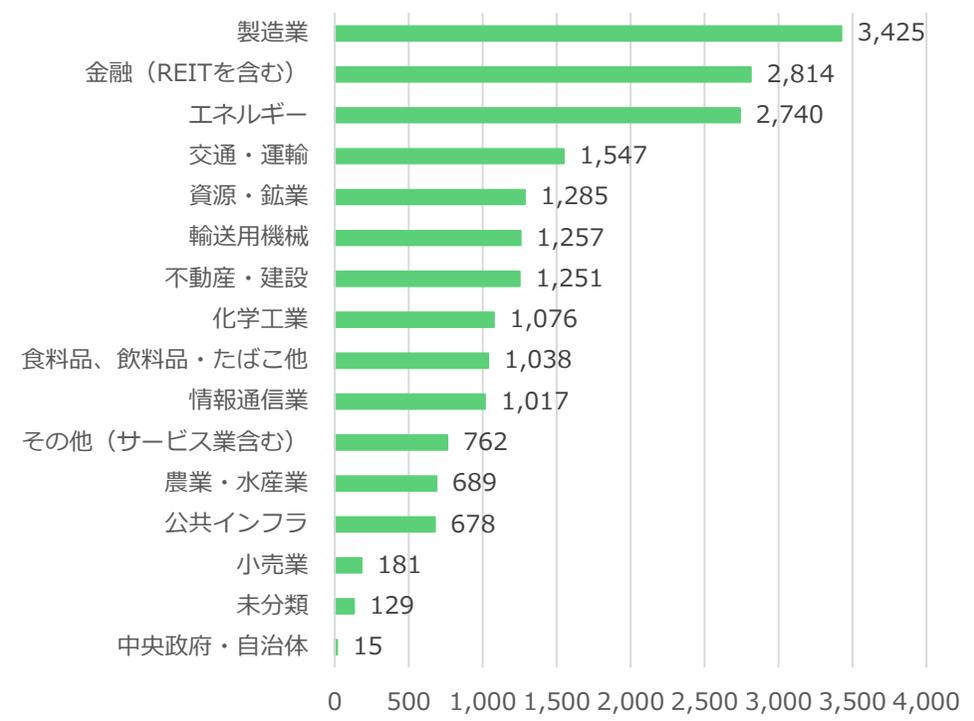
世界のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- 2023年の組成額は前年比81%減少したが、組成件数は前年比102%とわずかに増加した。
- 累積組成額で見ると、借り手業種別には製造業、金融（REITを含む）、エネルギー、交通・運輸の順に組成額が多い。

組成額推移（億米ドル）



借り手業種別累積組成額（億米ドル）

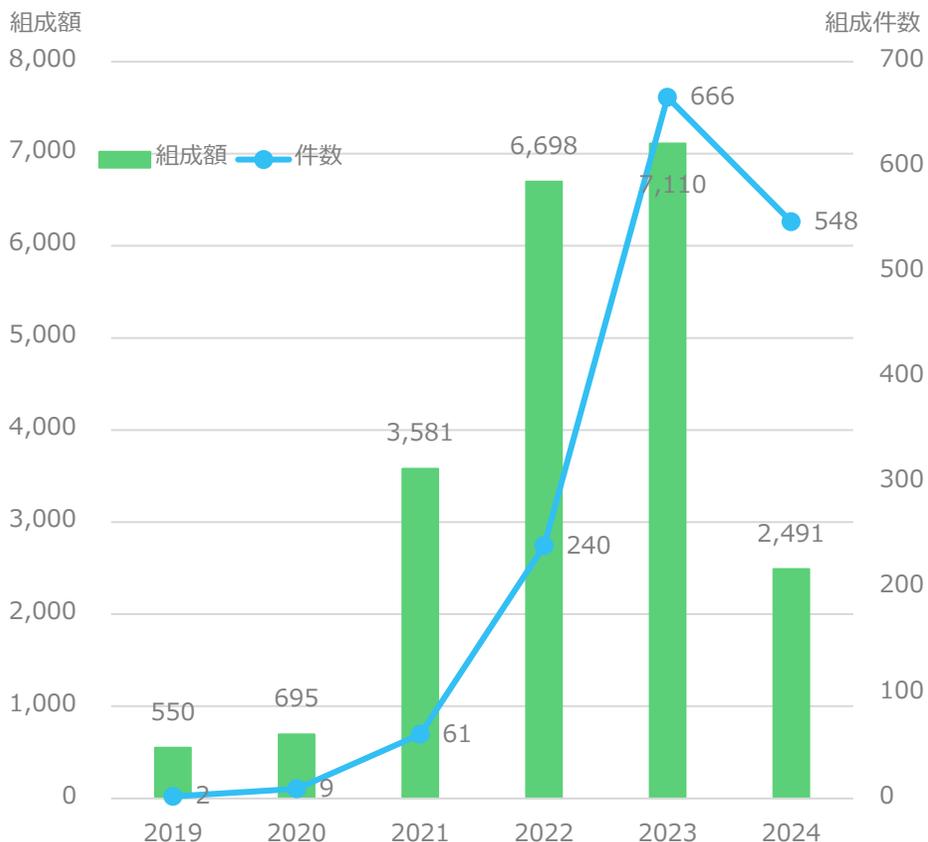


*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

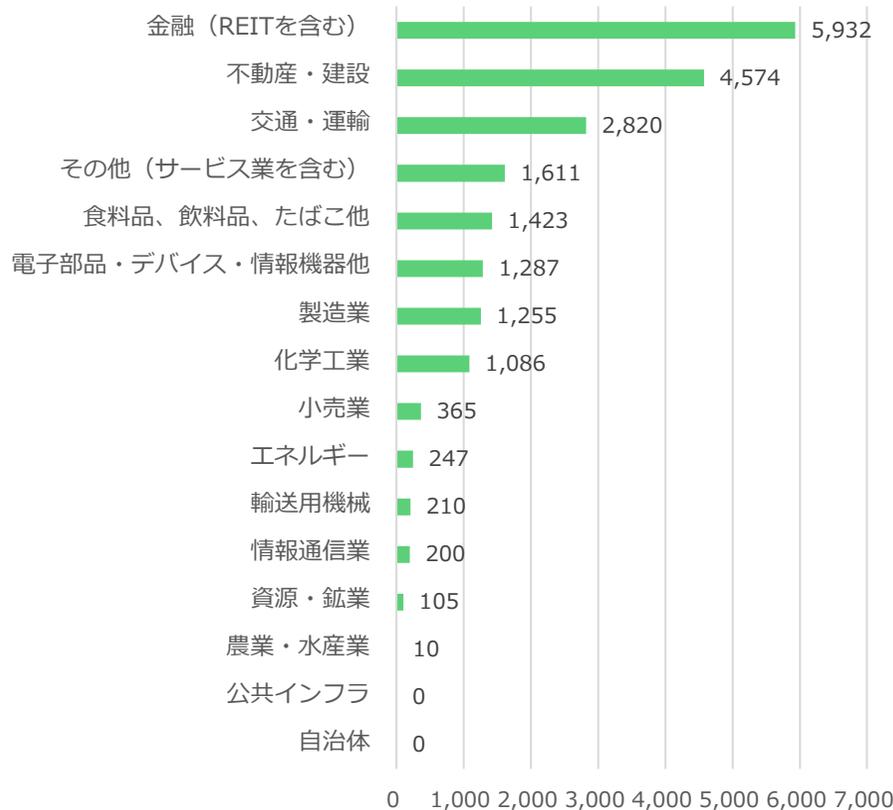
国内のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- 2023年の組成額は前年比106%と微増であるのに対して、件数は278%と増加傾向にある。ただし、借入額が開示されていない案件が増加しており、組成額も実態としては伸びていると推測される。
- 日本の特徴として業種別には製造業の組成額が少ない一方、不動産・建設、交通・運輸が多い。

組成額推移（億円）



借り手業種別累積組成額（億円）



*金額情報が非開示案件は件数のみカウント

**金融機関が自らの資金調達の方針としてではなく、顧客へサステナビリティ・リンク・ローンを提供する際の方針として策定した「サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク」に基づいて組成された案件も含む